



JASDAQ

平成18年2月17日

各位

会社名 東新住建株式会社
代表者名 代表取締役社長 深川 堅治
(JASDAQ・コード1754)

問合せ先

役職・氏名 常務取締役経営推進本部長 飯野 磨
電話 0587-23-0011

平成18年6月中間期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年6月中間期(平成17年7月1日～平成17年12月31日)の業績予想につきまして、平成17年8月12日付当社「平成17年6月期決算短信(連結)」および同日付当社「平成17年6月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成18年6月期中間連結業績予想数値の修正(平成17年7月1日～平成17年12月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	40,472	358	33
今回修正予想(B)	37,062	630	765
増減額(B-A)	3,409	988	798
増減率(%)	8.4%	-	-
(ご参考) 前期実績(平成17年6月中間期)	29,018	459	422

2. 平成18年6月期中間個別業績予想数値の修正(平成17年7月1日～平成17年12月31日) (単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	38,312	639	179
今回修正予想(B)	34,514	361	584
増減額(B-A)	3,797	1,000	763
増減率(%)	9.9%	-	-
(ご参考) 前期実績(平成17年6月中間期)	27,687	359	319

3. 修正の理由

(連結)

売上高につきましては、昨年12月の記録的大雪の影響で、建物の完成引渡しが遅延したことなどにより、当初予想より34億9百万円減少し370億62百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、売上高が減少したこと、また新規営業所の開設による先行投資費用が増加したことなどにより、当初予想より9億88百万円減少し6億30百万円の経常損失となる見込みであります。

中間純利益につきましては、上記の理由により7億65百万円の間接純損失(当初予想比:7億98百万円の減少)となる見込みであります。

(個別)

主な修正理由につきましては、連結の修正理由に記載のとおりであります。

4. 通期の見通し

通期の見通しにつきましては、受注高が前年に比べ好調に推移しておりますので、当初予想どおり変更はありません。

(ご参考)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
平成18年6月期連結業績予想	90,443	3,618	1,655
平成18年6月期個別業績予想	84,566	3,397	1,558

以 上